

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	栃木県・足利市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	足利市地域文化遺産活性化事業		【計画の改善時期】 平成30年度
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
第7次足利市総合計画（平成28～33年）において、まちづくりの基本的な指針である基本構想では、教育・文化における施策の方向性として、「市民一人ひとりが、生涯を通じて教養と豊かな心を育みながら、文化の薫り高いまちをつくる」ことを目標としている。 また、基本構想を具現化する基本計画の中では、「文化芸術振興を目的とした国補助金を活用し、伝統文化等芸術文化事業の支援を行う」ことを施策としている。具体的には、国補助金等を活用し、足利ゆかりの伝統芸能等芸術文化事業を実施するための支援と子どもたちが気軽に伝統文化にふれられるよう各種教室の開催を支援することが挙げられている。 これらの基本構想、基本計画を踏まえ、国の補助金を活用した下記の取組を実施し市民の主体的な芸術・文化活動を支援するための環境を整備するとともに、市民ニーズに対応した事業を実施し、市内外へ情報を発信する。 こうした事業を実施した結果、今までの文化によるまちづくりの活動が高く評価され、本市は平成28年度文化庁長官表彰（文化芸術創造都市部門）を受賞した。これを契機に、今後も本市ゆかりの伝統芸能等を融合させた文化財の積極的な活用を目指し、本市ならではの芸術・文化活動を展開し、まちの活性化へつなげる事業を実施していく。 I 地域文化遺産活性化事業 八木節振興に伴う研修発表会等の開催（毎年実施）			
6 実施体制			
本事業については、足利市が全体の計画の企画、調整、事業の指導を行う。 1. 主な担当課、役割 教育委員会文化課：実行委員会運営に関する援助及び文化財の取扱等に関する指導等。 2. 次の団体が実施する。 足利市地域文化遺産活性化事業実行委員会（委員長：足利市長） 〈構成団体〉足利市、足利市八木節連合会			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 3,331 千円	平成30年度申請額： 343 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
第7次足利市総合計画にのっとり、平成28年度から平成33年度にかけて、市内の文化遺産を活用して足利ゆかりの一流の古典芸能や地域の伝統芸能を紹介することで、市民が地域の歴史や文化に親しみを持ち、市民一体となった地域の伝統文化継承基盤整備の気運が高まり、次世代へとつなぐための人材を育成することが期待できる。 ①足利市の豊かな歴史とともに継承されてきた寺社や史跡など有形の文化遺産とともに、能楽、邦楽、民俗芸能など、無形の文化遺産の価値を市民が再発見し、地域の活性化を図ることができる。 ②足利発祥の伝統芸能八木節のさらなる普及啓発を図るためシンポジウム、研修発表会をとおして、今後参加者が指導者として、市内の小中学校に出向き、児童・生徒に指導することが期待できる。 ③各事業で小中高生への参加のみならず広く市民へ積極的に呼びかけることにより、多くの子どもたちに伝統文化に触れる機会を作る。昨年度の参加者の中には若者も多く参加しており、今後事業を企画する側になることも期待することができる。			

10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）	
事業概要：	
事業概要：	
事業概要：	
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等	
12 担当部局	
地方公共団体 担当部局課	足利市教育委員会事務局文化課（文化振興担当）

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流				
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数（具体的な指標は次のとおり）				
具体的な指標 1 :	八木節振興センターへの来館者数		関連事業:	①	
目標値 1 :	【現状値】 平成 28 年度 5,455 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 6,300 人				
設定根拠 1 :	平成28年度から29年度の伸び率3.6%を参考に、毎年入館者数 3 %増加を目指す。				
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
5,455 人	5,654 人	人	人	人	人
	24%				

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	八木節振興に伴う研修発表会				実施団体：	足利市八木節連合会			
事業区分：	普及啓発				事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	日本民謡の代表の一つである八木節は、郷土で生まれ私たちが誇れる郷土芸能であることからなお一層、保存及び普及に努める他、技量向上を図るとともに後継者育成への一助とする。 足利市八木節研修発表会								
評価指標区分：	・フェスティバル出演団体の保存会会員数					(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	足利市八木節連合会会員数の増加								
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 320 名 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 500 名								
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率								
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度				
320 名	317 名	名	名	名	名				
0%	-2%								
#DIV/0!	#DIV/0!								